

# 1. 京都・健康長寿ニュースレター

第26号  
京都府健康対策課  
健康づくり・企画担当  
075-414-4724

## 平成28年度京都府民歯科保健実態調査報告



### 歯と口の健康づくりに関する主な目標



目 標 項 目	前回調査	調査結果		目標値
	平成23年度	平成28年度	評価	平成29年度
<b>&lt;成人期&gt;</b>				
20歳以上で定期的（過去1年間）に歯科検診を受けている者の割合の増加	44.3%	53.7%	○	55%以上
20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	23.0%	28.9%	▽	20%以下
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	41.3%	44.4%	▽	30%以下
40歳(35～44歳)で喪失歯のない者の割合の増加	62.2%	71.6%	◎	70%以上
60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	61.5%	61.0%	△	70%以上
60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	62.9%	55.8%	○	55%以下
60歳(55～64歳)で24本以上の歯を有する者の割合の増加	69.9%	73.3%	○	75%以上
<b>&lt;高齢期&gt;</b>				
80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加	49.7%	58.3%	◎	55%以上

【評価】 ◎：目標達成 ○：改善傾向 △：現状維持 ▽：悪化傾向

#### 【歯科健診受診状況】

( )内：前回調査と比較

●20歳以上で定期的に歯科健診を受けている者の割合（9.4%改善）

→ 定期的な歯科健診を受けている方が増えていました。

#### 【歯ぐきの状況】

●20歳代で歯肉に所見を有する者の割合（5.9%悪化）

●40歳代における進行した歯周炎を有する者も割合（3.1%悪化）

●60歳代における進行した歯周炎を有する者も割合（7.1%改善）

→ 歯ぐきの状況は、20歳代、40歳代で悪化傾向であり、60歳代では目標達成にはあと少し至りませんでした。進行した歯周炎の方は減少していました。

#### 【歯数の状況】

●60歳で24本以上歯を有する者の割合（3.4%改善）

●80歳で20本以上歯を有する者の割合（8.6%改善）

→ 歯の本数は、60歳、80歳でも自分の歯を多く残すことができていました。

■「京都府歯と口の健康づくり推進条例」(平成24年京都府条例第67号)を公布・施行

■「京都府歯と口の健康づくり基本計画」を平成26年3月に策定